

和歌山租推協だより

平成 30 年 3 月 発行 ～第 101 号～

《発行》

和歌山市租税教育推進協議会
(事務局)

和歌山税務署 総務課内

☎073 (424) 2132

～ はじめに ～

関係各位におかれましては、平素から当協議会の運営、とりわけ児童・生徒に対する租税教育の推進につきまして、深いご理解と多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当協議会は、和歌山市内の国・県・市の税務及び教育関係者並びに関係協力団体が連携・協調し、和歌山市内の児童・生徒に対して、教育現場を通じて租税教育の充実を図るために、租税教室の開催の働きかけや中学生・高校生の税に関する作文募集・表彰など、租税教育推進のための各種事業活動に取り組んでおります。

平成 23 年度税制改正大綱において、「租税教育の充実」が閣議決定されたことを受け、文部科学省、総務省、国税庁の 3 省庁が連携・協調し、租税教育の推進及び充実のための環境の整備を図っていくこととされました。

どうか、皆様方におかれましても、それぞれの立場で、租税教育の更なる推進にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

なお、本号では、平成 29 年度の中学生・高校生の税に関する作文の表彰結果を紹介させていただきます。

和歌山市租税教育推進協議会
会長 中村 文昭
(和歌山税務署長)



平成 29 年 11 月 30 日「税に関する高校生の作文」表彰式
和歌山税務署 会議室

～ 税に関する作文の表彰 ～

平成 29 年度は、和歌山市内の中学校から 4,087 編(25 校)、高等学校から 1,847 編(11 校)のご応募をいただき、厳正な審査の結果、次の皆さんが受賞されました。おめでとうございます。

なお、受賞者の皆さんには、表彰状及び記念品が贈られました。

中学生の「税についての作文」受賞者

- ★全国納税貯蓄組合連合会長賞
堤 瑞 (和歌山県立向陽中学校 3 年)
- ★和歌山市長賞
中 面 杏 (和歌山市立加太中学校 3 年)
- ★全国納税貯蓄組合連合会優秀賞
永 嶋 未 来 (和歌山信愛中学校 2 年)
- ★和歌山市教育委員会教育長賞
門 阪 歩 実 (和歌山信愛中学校 3 年)
- ★大阪国税局長賞
川 本 陽太郎 (智辯学園和歌山中学校 3 年)
- ★和歌山市租税教育推進協議会長賞
瀬 藤 将 任 (和歌山市立東中学校 2 年)
土 屋 暉 人 (和歌山市立河北中学校 1 年)
中 口 倫大朗 (和歌山市立西浜中学校 3 年)
- ★近畿税理士会会長賞
中 山 結 夢 (和歌山県立桐蔭中学校 2 年)
- ★和歌山納税協会会長賞
辻 鈴 奈 (和歌山市立西脇中学校 3 年)
- ★和歌山県租税教育推進連絡協議会長賞
辻 道 きみ子 (智辯学園和歌山中学校 3 年)
- ★大桑教育文化振興財団理事長賞
岡 田 真 奈 (近畿大学付属和歌山中学校 2 年)
神 谷 萌 絵 (和歌山信愛中学校 2 年)
駒 木 華 乃 (和歌山市立貴志中学校 3 年)
竹 田 奈 央 (和歌山市立西脇中学校 3 年)
巽 心 乃 (和歌山市立河北中学校 2 年)
- ★和歌山税務署長賞
峪 紳大朗 (和歌山市立西和中学校 3 年)
高 須 愛 理 (和歌山県立向陽中学校 3 年)
- ★和歌山県知事賞
保 本 真 歩 (智辯学園和歌山中学校 3 年)
- ★和歌山県税事務所長賞
阪 尾 柚 (和歌山市立東和中学校 2 年)

(敬称略・同一賞内は氏名 50 音順)



堤 瑞さん
(和歌山県立向陽中学校 3 年)



永嶋 未来さん
(和歌山信愛中学校 2 年)



川本 陽太郎さん
(智辯学園和歌山中学校 3 年)

平成 29 年 11 月 14 日 納税表彰式における「中学生の税についての作文」朗読
ホテルグランヴィア和歌山

「税に関する高校生の作文」受賞者

★大阪国税局長賞

松井 涼穂（和歌山県立和歌山商業高等学校3年）

★和歌山県租税教育推進連絡協議会賞

河合 夏紀（和歌山信愛高等学校1年）

★和歌山県知事賞

加藤 優有（和歌山県立和歌山商業高等学校3年）

★和歌山税務署長賞

大河内 佑樹（智辯学園和歌山高等学校1年）

高島 美有（和歌山信愛高等学校1年）

田村 瞳水（和歌山県立向陽高等学校1年）

吉増 萌理（和歌山県立和歌山商業高等学校3年）

渡邊 星奈（和歌山県立桐蔭高等学校1年）

★和歌山市租税教育推進協議会長賞

松谷 朋（和歌山県立和歌山北高等学校1年）

宮本 紗季（和歌山県立和歌山工業高等学校1年）

六尾 匡起（智辯学園和歌山高等学校1年）

★和歌山納税協会賞

峪 悠里子（和歌山市立和歌山高等学校1年）

島西 真誉（智辯学園和歌山高等学校1年）

戸津井 尚杜（和歌山県立桐蔭高等学校1年）

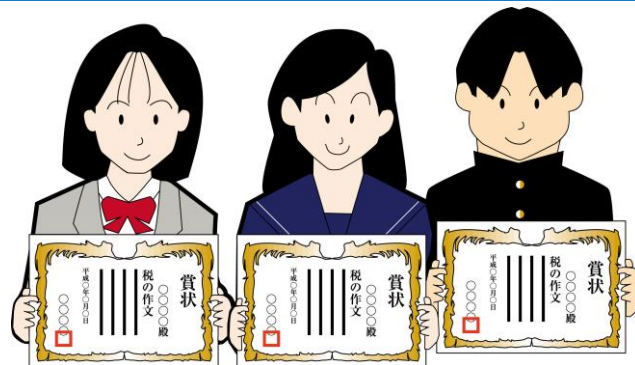
中島 咲乃（和歌山県立和歌山商業高等学校3年）

★近畿税理士会和歌山支部長賞

坂口 和圭菜（智辯学園和歌山高等学校1年）

東野 琳香（和歌山県立和歌山東高等学校1年）

（敬称略・同一賞内は氏名50音順）



～ 租税教育関係表彰 ～

国税局では、租税教育の推進及び租税教育推進のための基盤整備等について、特に功績のあった学校等に「租税教育推進校等」として表彰を行っております。

平成29年度は、次の学校に対して、感謝状が贈呈されました。

★大阪国税局長感謝状

「和歌山市立 城東中学校」

★和歌山税務署長感謝状

「和歌山県立 和歌山商業高等学校」

～ 受賞作品の紹介 ～

大阪国税局長賞

「高校生活の中で」

和歌山県立和歌山商業高等学校 3年 松井 涼穂

「税金は私たちの生活になくてはならないもの」そう感じる事が高校生活を過ごす上で多くなりました。

商業高校に入学してから、税金について触れる機会が増えました。私たちの学校では総合実践という、週に一回二時間かけて行う授業があります。これは商業科目の総合的な学習をするために、商店や運送会社、銀行などに分かれて企業で働くのと同じように業務を行う授業です。

私は商店の総務の担当になりました。授業での総務の主な業務内容は給料計算です。給料計算では、所得税、市町村民税などの税金が必ず出てきます。給料から税金や社会保険料などが引かれるので手取り額は減ってしまいます。

授業で初めて給料計算をした時は、給料が減ってしまうことに少しがっかりする気持ちもありました。でも、私たちが税金を納めることによって、公共施設や公共サービスなどに使われ、私たちの生活を支えることができています。そのことを考えると、「働く」ということは自分のためだけではなく、学生の今よりもっと社会に貢献することができるんだと改めて理解しました。

私は高校を卒業したら就職をします。学生ではなく社会人になるので、税金に関わる事が多くなります。「私たちの暮らしがよりよくなれるように、社会に貢献するんだ」という気持ちを常に持って働こうと、この総合実践の授業を通して思うことができました。

給料計算以外にも総合実践の授業では企業を運営していく中で納めなければならない税金など、将来、私たちにとって必要な知識を得ることができます。

もちろん商業高校では総合実践の授業以外にもいろいろな商業科目を学ぶので、税金について知る機会が多くあります。なので、税金がどれほど私たちの暮らしに密接に関わっているかがよく分かることができました。

最近のニュースでよく問題になってテレビで報じられているのは議員の政務活動費の不正です。政務活動費は税金から出ています。このニュースを見て、国民が信頼して選んだ議員が政務活動費を不正に使用していることが許せませんでした。もしこのニュースを中学生の時の私が見ても、「あまり自分に関係がないことだ」と、なんとも思わなかったと思います。

高校生の今、「許せないことだ」と思えるのは、高校で税金について触れる機会が多かったからこそ、自分たちが納めてきた税金を無駄遣いされる気持ちを考えることができたからです。

私たちが税金を納めることによって社会が成り立っている事と、税金の大切さを政治活動をしてくれる議員の人だけではなく、全ての人に忘れないでほしいなと思います。

～ 受賞作品の紹介 ～

和歌山県租税教育推進連絡協議会賞

「税金の役割」

和歌山信愛高等学校 1年 河合 夏紀

税金という言葉にあまり良い印象がない。どうしてそう思うのだろうか。税金という言葉を書きで調べてみた。税金とは国や地方公共団体が公共財や公共サービスの経費として法令に基づいて国民や住民に負担を求める金銭である。とあった。辞書にもあるように私たちに負担がある金銭。この負担という言葉があまり良い印象を受けない理由ではないか。

では、本当に税金は私たち国民にとって負担ばかりになるものなのだろうか。私たちは、税金がどのように使われているのかを知っているようで知らないことが多い。だから、私たちの負担だと感じてしまうのではないか。私たちが納める税金はどのように使われ、どのような役割を果たしているのだろうか。今回、この作文を書くにあたって調べることにした。

国や都道府県、市区町村では、私たちが健康で文化的な生活を送るために個人ではできない仕事（公共サービス）があり、これら全てにはお金がかかっている。例えばゴミの処理。私の住む和歌山市は平成27年度ゴミの処理に4,317,782,000円がかかっている。これをゴミを出す人が全て負担するとするといくらかかるだろう。もしかしたら、ゴミを出すのにお金がかかると町中にゴミが溢れるかもしれない。そうなるとう衛生環境が悪くなり、私は健康な生活を送れなくなるだろう。

例えば交番が有料になったらどうだろう。道案内に〇〇円、犯人逮捕に△△円と私たち住民に直接請求されるとしたら、町で犯罪が起きた時、お金がかかるなら警察には頼まないで犯罪者が野放しにされるかもしれない。そんな社会、安心して生活できるだろうか。他にも学校や公園や道路、上下水道、信号や消防車や救急車、病院に行ったときの医療費など税金で賄われているものは、私たちの身のまわりにたくさんある。このように私たちが普段当たり前だと思っているところに税金はたくさん使われているのだと分かった。

和歌山県では県民1人に使われている税金は年間595,039円だと言われている。私たち1人が1年間健康で文化的な生活を送るためには教育費、民生費、警察費、土木費、商工費、公債費などこれだけのお金が必要ということだ。これらの事を踏まえ、税金を負担と考えるか、私たちが安心して生きていくために必要なお金かと考えるかで税金に対する印象は変わると思う。

私は今回、税金について調べていくにつれて、税金は私たちの生活になくてはならないものであり、これがないと安心して生活することができないということが分かった。税金は私たちが負担しなければいけないものという考え方から私たちの生活を充実させてくれるものという考え方に世の中が変わってくれば、より豊かな生活ができるように感じた。税金がもたらす豊かな生活を考えられる大人になりたいと思った。税金は負担するものではなく、私の生活を豊かにするものだ。

～ お 知 ら せ ～

租税教室（出前授業）の開催について

当協議会では、租税の役割や申告納税制度の意義、納税者の権利・義務などを正しく理解していただくことを目的に、次代を担う児童・生徒を対象とした「租税教室」を積極的に開催しております。

また、社会人の手前となる高校生や大学生等に対する税の啓発活動の充実を図るため、講演会などへの講師派遣も積極的に実施しております。

時間・内容等について、ご相談させていただきますので、お気軽に事務局までお電話ください。

【お問い合わせ先】

和歌山市租税教育推進協議会（事務局）

〒640-8520 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎

和歌山税務署 総務課内 ☎ 073 (424) 2132

和歌山県租税教育推進連絡協議会ホームページ

「わたしたちの暮らしと税金」の紹介

和歌山県租税教育推進連絡協議会ホームページ「わたしたちの暮らしと税金」では、児童・生徒の皆さんが、税について詳しく学べるコーナーの他、「税に関する作文」を作成する際に必要な資料等や先生方に授業で利用していただける税についての資料・教材等の提供を行っています。

また、「あなたのまちの租税教育推進協議会」では、和歌山市租税教育推進協議会の活動が紹介されています。



和歌山県租税教育推進連絡協議会ホームページ抜粋

ホームページ内では、「税について学習しよう」をはじめ、「和歌山県の財務状況」や「租税教育用教材」、「あなたのまちの租税教育推進協議会」、「税に関する作文」など税について学べる様々なツールが掲載されています。

ホームページへのアクセスはこちらのアドレスまで！

アドレス <http://www.wakayama-sozeikyoiku.jp>

和歌山県租税教育

検索

